

LIKE SOMEONE IN LOVE

ライク・サムワン・イン・ラブ

by J. Van Heusen, J. Burke

Copyright © 1944 by BURKE & VAN HEUSEN, INC./CHAPPELL-MORRIS LTD.
Rights for Japan assigned to CHAPPELL/INTERSONG K.K.

曲をソロで弾く場合に大切なことは、いかにオープン・ハーモニーを使うか、ということです。普段ソロで演奏する時でも、即興的にメロディ・ラインを変化させたり、ベース・ライン(コード進行)を変化させたりすることは容易ですが、特に内声の動きなどで即興的に美しいものを作るのは難しいことです。そこで、この曲ではアレンジするに当たり、メロディ・ラインの変化(フェイクやアドリブ)よりもストレート・メロディに対するオープン・ボイスと、その内声によく使われるパターンを主に書いてみました。

テンポは全体にルバートですが、**E**の2小節前からスローのイン・テンポで弾いてください。そして**F**の7小節目から再びルバ

ートで終わります。左手に時折10度が出てきますが、弾きにくい人はペダルを使って練習してみてください。また、右手は頻りに9度が出てきますが、これも無理がある人は左手と同様にやってください。オープン・ハーモニーを弾く場合、コードの移り変わる場所でペダルを使わないと流れが途切れてしまうことが多いのですが、前のコードと次のコードが重ならないように注意深くペダリングしてください。冒頭から4~5小節の間はクラシカルな響きがすると思いますが、クラシックの曲をひとつも弾けない私にとって、非常に新鮮に聴こえる部分であります。皆さんはいかがなものでしょう？

(小林 洋)

Rubato

A C E7(onB) Am7 C9(onG) D(onF#) G7(onF) C(onE) Am7

Dm7 Em7 FΔ7 Ab7(onGb) G7

C Gm7 C9

B F6 R.H. Bm7 E7(13) AΔ7 Bm7 C#m7 Bm7 Bb9

Am9 R.H. D9 Dm7(onG) Em7(onG) Dm7(onG) G7aug D^{b7}([#]11)

C Caug Δ 7 F Δ 7 Em7 A9 D7(13) (^b13) G9 F7([#]11) Em7 A7(¹³/₁₁/₉)

Dm Dm7(^{onC}) B^b Δ 7 A^b Δ 7 G Δ 7 G7aug G6 G9([#]5) C Δ 7 Caug Δ 7 C6 Gm7(^{onC}) C7

D Bm F[#]7(^{onB}) Bm7 E7(^b9) A Δ 9 A7(^{onC}[#]) D Δ 7 D[#]dim

Slowly tempo
Em7 A7 Eb7 Dm7 B^b/_{A^b7} D^b9 C A^b Δ 7 Fm7(11) E7([#]11)

E EbΔ7 A9 AbΔ9 Db9(#11) Cm9 F7(13) Bbm9 Eb7(13) Ab6 Gm7 Fm7 $\frac{G}{Bb7}$ Gm7 C7 F#m7 B7

Fm7 Bb7 Eb Cm7(11) B7

Bbm7 Eb7(#9) **F** Ab⁹ Dm7(9) G7⁽¹³⁾₉

$\frac{Eb}{C7}$ $\frac{E}{Bb7}$ $\frac{F}{A7}$ $\frac{Ab}{D7}$ Gm7 $\frac{Eb}{C7}$ F7(#9) $\frac{G}{Bb7}$

Eb(add9) G7(onD) Cm7 BΔ7 EΔ7(#11) EbΔ7

(キーボード・マガジン1982年8月号掲載)